

目次

| | | |
|------|-----------|----|
| はじめに | | i |
| 凡 例 | | 2 |
| 序 章 | | 3 |
| 第一節 | 研究の目的と意義 | 3 |
| 第二節 | 先行研究の整理 | 8 |
| 第三節 | 研究法と史料の扱い | 9 |
| 第四節 | 本書の構成 | 10 |

第一章 初期陸軍航空の实情と課題……………15

本章の概要 15

第一節 第一次世界大戦以前の世界の航空界 16

第二節 初期の陸軍航空組織 20

- 一 臨時軍用気球研究会の発足／
- 二 陸軍航空組織の課題

第三節 初期の陸軍航空要員の補充・養成 27

- 一 航空要員の補充・養成方法／
- 二 航空要員の補充・養成上の課題

第四節 初期の陸軍航空器材の補給・整備 38

- 一 航空器材の補給・整備の方法／
- 二 航空器材の補給・整備上の課題

本章のまとめ 46

第二章 第一次世界大戦、シベリア出兵と陸軍航空……………54

本章の概要 54

第一節 第一次世界大戦における航空戦力 55

第二節 第一次世界大戦と陸軍航空 58

- 一 青島戦役における陸軍航空隊の活動／
- 二 青島戦役における戦訓
- 三 航空器材の輸入停止と航空器材国産化の試み

第三節 シベリア出兵と陸軍航空 72

- 一 航空部隊の大拡張計画と飛行機の大量購入／ 二 シベリア出兵における陸軍航空隊の活動
- 三 シベリア出兵における教訓と課題

第四節 諸外国における航空戦力の実態調査 92

- 一 大戦中の欧米航空戦力に対する陸軍の関心／ 二 陸軍による航空事業の推進と独立管理
- 三 航空要員の補充・養成／ 四 航空器材の補給・整備／ 五 民間航空の活用

本章のまとめ 110

第二章 陸軍航空発展の契機……………130

本章の概要 130

第一節 大正六年特別大演習と航空関係組織の改編 131

- 一 大正六年特別大演習における飛行機事故／ 二 陸軍航空関係組織の改善案

第二節 航空先進国からの影響（一） イタリア 146

- 一 イタリアへの日本航空団派遣の経緯／ 二 イタリアにおける日本航空団の教育内容
- 三 イタリア派遣日本航空団の評価

第三節 航空先進国からの影響（二） フランス 157

- 一 フランス航空教育団来日の経緯／ 二 フランス航空教育団による教育内容
- 三 フランス航空教育団の講習への評価

本章のまとめ 176

第四章 陸軍航空の近代化……………191

本章の概要 191

第一節 陸軍航空の近代化の始まり 192

- 一 陸軍航空部隊の拡大と編制分科の始まり／ 二 陸軍航空部の新設とフランス式の採用
- 三 陸軍航空部新設の評価とその後の課題

第二節 陸軍航空要員の補充と養成方針の変化 201

- 一 「航空術修業員分遣規則」の制定／ 二 陸軍航空学校の新設と航空教育の専門化
- 三 教範類の作成と航空運用思想の形成／ 四 航空運用思想の発展と航空教育上の制約

第三節 陸軍航空器材の生産及び補給方針の変化 219

- 一 フランス式航空器材の採用／ 二 器材独立方針
- 三 整備方法の模索／ 四 航空器材整備の課題

本章のまとめ 240

第五章 陸軍航空の独立と外部資源活用 of 模索……………254

本章の概要 254

第一節 陸軍航空における航空の独立管理への模索 255

| | | | |
|--------|-----------------------------|-----|----------------------|
| 一 | 宇垣軍縮と陸軍航空本部の発足／ | 二 | 航空兵科独立 |
| 三 | 陸軍航空関係行政組織の改編の功罪 | | |
| 第二節 | 民間航空基盤の育成 | 274 | |
| 一 | 世界の民間飛行界の状況／ | 二 | 日本の民間航空界の状況 |
| 三 | 航空局設置と民間航空活用の模索／ | 四 | 民間航空活用上の問題 |
| 第三節 | 海軍航空基盤の活用 | 301 | |
| 一 | 海軍の飛行機に対する関心と陸軍からの評価／ | 二 | 陸軍による独立空軍創設の模索と海軍の反発 |
| 三 | 「現制維持」の結論とその要因 | | |
| 本章のまとめ | 324 | | |
| 終章 | 帝国陸軍の航空建設期における課題と対応の分析…………… | 345 | |
| 第一節 | 各章の整理 | 346 | |
| 第二節 | 井上幾太郎の改善案とその達成度合 | 349 | |
| 第三節 | 第一次世界大戦の教訓から陸軍航空が目指したもの | 353 | |
| 第四節 | 制約要因と推進要因 | 357 | |
| 一 | 制約要因／ | 二 | 推進要因 |
| 第五節 | 現代へのインプリケーション | 366 | |

付録……………375

付録1 「航空制度改善に関する意見」……………376

付録2 「発動機製作班に関する仏国航空団終末報告(抜粋)」……………382

付録3 陸軍航空・飛行学校における教育(一九一九年～一九二四年)……………384

付録4 軍用飛行機及び発動機の種類(一九二〇年一月一日)……………387

付録5 飛行機・発動機の名称(一九二二年一月二七日)……………388

付録6 「日本陸軍航空に関する仏国『シヨノー』少佐の意見」……………389

付録7 航空兵科独立をめぐる井上少将とフォール大佐のやりとり……………391

付録8 民間航空事業監督奨励に就て……………394

付録9 「空軍組織問題に関する特別委員会の意見(概要)」……………397

あとがき……………403

索引……………420

人名索引……………420

事項索引……………417